

札幌市長 秋元克広 様

2020年8月5日
日本共産党札幌市議団
団長 村上 ひとし

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症の拡大抑止のために全力をあげておられる、市長はじめ本市職員みなさんに敬意を表します。

この間わが党は、議会での質疑や4回にわたる緊急要望で、感染拡大抑止をはじめとした対策を求めてきましたが、いま、その感染が東京など都市部をはじめ全国で急拡大するという、きわめて憂慮すべき事態となっています。

G o T oトラベルなど観光需要喚起の施策とも相まって、来札される方々が増加することが予想されるなか、本市においても感染の急拡大を招く恐れがあります。

感染を抑止するために様々な対策が講じられていますが、何より重要なことはPCR等の検査を大規模に実施する取り組みをすすめることです。防疫の観点から、可能な限り陽性者を特定し、無症状者を含めて「感染力」のある人を隔離・保護し、感染拡大を抑止することが急がれています。そのために、以下のことを要望いたします。

記

厚労省の7月15日付事務連絡を積極的に運用し、検査対象を保険適用されている発症者と濃厚接触者に限定せず、防疫の観点から幅広く公費による行政検査を行うこと。

①今後、感染震源地（エピセンター）となることが懸念されるすすきの地区について、臨時PCR検査センターの体制を拡充するなど、接待を伴う飲食店にとどまらず、希望する店舗の従業員や希望するお客に実施すること。

②医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染のリスクの高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なPCR検査等を発症者の有無にかかわらず行うこと。必要に応じて、施設利用者全体を対象にした検査を行うこと。

③感染の可能性を心配する市民を、症状の有無にかかわらず検査対象に含め、市民が身近にPCR検査を受けられる体制をめざすこと。